

地球は面白い

イーストボーンに家を建てた
いんだ。

日本で英語教師として働いて
いるイギリス人の友人は、そう
語った手前、わたしたちをその
夢の土地へ案内せざるを得なく
なった。

ブリテン島の南海岸、イギリ
スで最も多く陽光が降り注ぎ、
落ち着いた大人のリゾート地と
してイギリス人の間で根強い人
気を誇る土地、そイーストボ
ーンである。

にぎやかな観光地ブライトン
から車でほんの二十分ばかり、
海辺には青空にはえて白さがき
わたつピクトリア様式の豪華
(ゴージャス)なホテルが立ち並
ぶ。住宅街にも淡い色調の建物
が多く、観光客が抱く「暗く重

中野 香織

イギリス・イーストボーン

厚なイギリス」のイメージを見
事に裏切る。

友人が「ぜひ見せたい」とい
う「セブンスタース」なる場
所まで案内してくれる。ちよっ
とした登山なみに息が苦しくな
ってきたころ、目の前に白日夢
のような光景が広がる。高いと
ころにのぼったはずなのに、片

手をのばせば海の上。つまり絶
壁の上に立っているのである。
高さおよそ百六十メートルの断崖
(だんがい)の色は目の覚めるよ
うな白。そう、イギリスの土地は
石灰質なのだ。お湯をわかせば
やかに白い石灰が付着する。

「セブンスタース」と呼ばれ
ている。正式な地理的名前は「ビ
ーチ・ヘッド」。

崖(がけ)「ぶちを歩きな
ら、』さらば青春の光」(一九
七九年)というモッズ映画のラ
ストシーンを思い出していた。

同行の夫を見れば、崖「ぶち
に腹ばいになって、「こわいよ
ー」と言いながら下をのぞき
み、「壊れた自転車落ちてるぞー」と叫んで

目奪う断崖絶壁の白さ



イラスト・下田 一貴

いる。自称高所
恐怖症」の人に
かきつてこういうことをやって
怖さを確認してみたいらしい。

赤信号で道路を渡るのも自分
の責任でやるならばよし」と考
える国では、こんな断崖にも落
下防止のガードレールなどな
い。責任というより勇気もて
ないわたしは、ボートに乗って
大西洋から絶壁を仰ぎ見る。そ
の昔イギリスを「アルピオン」
(白い土地)と呼んだ人々もこ
んな畏怖(いそ)を感じただら
うか。
(服飾史家)